日経・24年1月20日(土)朝刊

谷口誠氏死去

元OECD事務次長

経済協力開発機構（OECD）事務次長などを務めた谷口誠（たにぐち・まこと）氏が1月14日、心不全のため東京都内で死去した。93歳だった。偲ぶ会を行うが日取りなどは未定。喪主は長男、健氏。

1959年、外務省に入省。86年に国連大使となり、90年には日本人として初めてOECD事務次長に就いた。早稲田大教授、岩手県立大学長なども歴任した。

南北問題や途上国経済の専門家として知られ、著書に「東アジア共同体――経済統合のゆくえと日本」など。